

## 1. 事業の必要性

事業名 : 特別経費（高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実）  
学習指導案データベース化を軸とする教育実習支援システムの構築

### 【目的・目標】

優れた「学習指導案」を収集・データベース化し、教育実習に臨む学生に対する事前指導時の教材及び通常の教科教育・教科研究授業時の指導案作成と作成した指導案に基づく授業演習を行って、検証をするとともに、教育実習期間中にあっても実習生がウェブにアクセスして、研究授業の学習指導案作成の参考とすることを目的とする事業である。

### 【必要性・緊急性】

教育実習を行う学生にとってのもっとも大きな不安は、学習指導案の作成であることが、本学の学生を対象としたアンケート調査で明らかになった。授業を行う上で、優れた授業を数多く参観するとともに、多くの学習指導案を研究することも効果的である。本事業において収録する学習指導案は、実際に本学で実施する教育実習の研究授業を行うに際して作成されたものであるため、実習生が参考とするには意義深いと考えられる。教科別に実施されている教育実習の事前指導においても、本データベース〔特別2-1〕の活用を図ることで、授業実施の際の学習指導案のイメージ作りや学生の研究授業に対する不安を取り除き、教科指導の事前準備を図ることができるという点でも効果的である。また本データベースは、通常の授業(例えば教科研究)においても、指導案についての教材としても利用することができる。

### 【独創性・新規性等】

本事業において収集しデータベース化する学習指導案は、教育実習生が作成した学習指導案のデータベースであるため、今後の教育実習に臨む学生にとってはおおいに参考となると考えられる。また教育実習時の学習指導案のデータベース化は、あまり行われておらず、その点でも新規性が高い。特に初めて学習指導案作成に取り組む学生には、わかりやすく学習指導案を組むことができるように、指導案のタイプや備えるべき要素について、パーツに分けて取り出すことができるよう配慮し、それらを組み合わせて独自の指導案を作成できるようにする。

### 【第2期中期目標及び中期計画との関連性】

「I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標1 教育に関する目標(2) 教育の実施体制に関する目標」の「③教育実践力養成の柱である教育実習の充実のための研究体制を構築し、持続的に教育実習の質的向上を図る」(中期目標)に関わり、「教育創造開発機構の下、教育科目等と教育実習の体系化を進め、教育実習の到達目標をより明確にするとともに、教育実習の成果をきめ細かく把握し、教育実践に関わる教育の充実を図るため、事前・事後の指導の充実及び実習時における実習校と連携しての学習支援を強化する。」(中期計画)としている。このうち、教育科目等と教育実習の体系化を進めるにあたって、教科教育科目や教科研究科目の授業時における学習指導案の研究や演習を行う際の教材として、また教育実習の事前・事後指導時における資料及び実習中の参考資料として学生が常時活用できる資料として本データベースが役立つ。

## 2. 事業の取組概要「年度別」

〔平成23年度に実施した事業概要：1年目〕

平成23年度前期教育実習（6月）及び後期教育実習（10月）の事後指導時において、学生が各実習校において実施した研究授業時の学習指導案の提出を求め、全体で約1500の学習指導案を収集した。収集した学習指導案について、データベース化する場合の検索項目、選択基準、指導案に対するコメントの記載方法などについて、大学教育・教員養成開発センターの教育実習部門及び研究補佐員の協力のもとに、検討を行った。研究補佐員6名及び非常勤の事務職員1名の採用については、前期実習の指導案が収集できた8月から採用し、以後8ヶ月間にわたって学習指導案への指導コメントの記入を行ってきた。9月末から別途既に運用をしているネット上システム「まなびネット」において、本学習指導案データベースへのアクセスができるようにし、後期実習期間だけでも約400件のアクセスがあった。平成23年度中にウェブ上に掲載した学習指導案の総数は、275件で、内訳は小学校152件、中学校104件、高等学校15件、特別支援4件などとなっている。また、学習支援の一貫として授業作り工房を整備した。模擬授業を行ったり、それを別室でモニターして効果的な実習指導を行えるような施設整備も進めた。

〔平成24年度に実施する事業概要：2年目〕

平成23年度に雇用していた研究補佐員2名の異動があった。研究補佐員の得意教科の関係から、保健体育分野の学習指導案の指導がやや不十分であったが、あらたに体育分野の研究補佐員を雇用することとした。平成24年度中にウェブ上に掲載した学習指導案の総数は、552件で、内訳は小学校236件、中学校235件、高等学校33件、幼稚園37件、特別支援11件などとなっている平成23年度からの累積掲載件数は、総数で827件となった。学習指導案作成支援ツールの機能を設けた。本ツールでは愛知県内の地区毎に特色のある学習指導案の形式を基準として8つのパターンを立て、それぞれの地区で実習を行う学生の学習指導案作成の参考となるよう便宜を図ることができた。

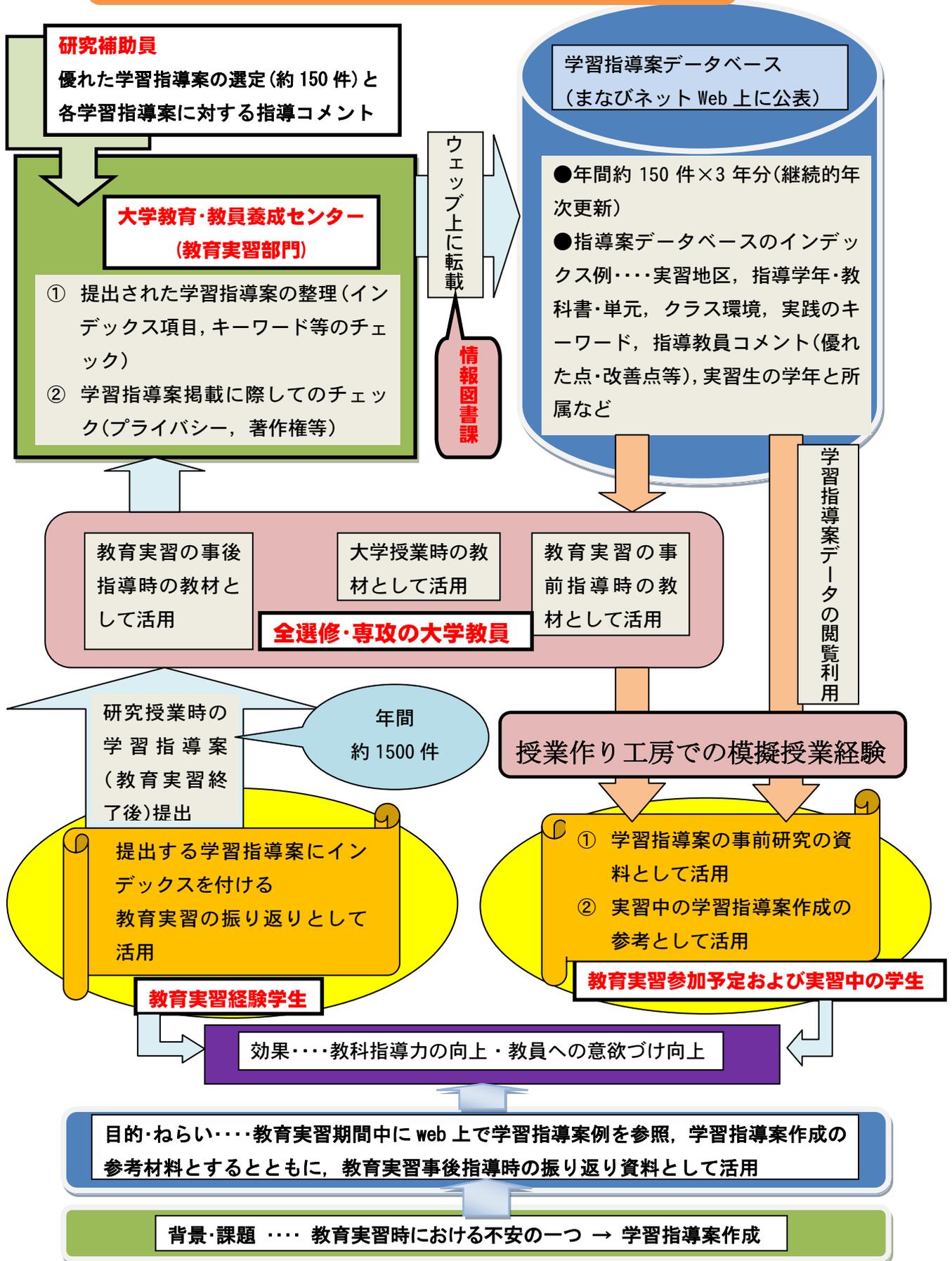
〔平成25年度に実施する事業概要：3年目〕

平成25年度中にウェブ上に掲載した学習指導案の総数は、419件で、内訳は小学校207件、中学校168件、高等学校23件、幼稚園19件、特別支援2件などとなっている平成23年度からの累積掲載件数は、総数で1,246件となった。データベースの学生利用促進を図るために、教育実習事前指導時に学生に周知したところ、実習直前及び実習期間中の利用が増加した。また、このデータベースの学生利用状況を把握するためにアンケートを実施し、利用者である学生の意識等の把握ができた。このアンケート集計結果をホームページで公開し、加えて利用促進を図る策を検討した。

〔平成26年度に実施する事業概要：4年目〕

教育実習だけではなく、通常の授業においてもデータベースを活用するとともに、多くの学生が独自の学習指導案を作成し、授業作り工房において、作成した学習指導案をもととした各種の教科にわたる模擬授業を実施する。さらに、授業能力の向上を図ることを促すために「教育実習支援に関するFD」を実施し、これまで学習指導案を精査していた研究補佐員が学習指導案から見えてきた学生の状況について発表し、ディスカッション形式で大学教育での役割等を議論した。

学習指導案データベース化を軸とする教育実習支援システムの構築



学習指導案データベース登録件数

平成26年10月31日現在

|         | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 幼稚園 | 特別支援 | 計     |
|---------|-----|-----|------|-----|------|-------|
| 国語      | 146 | 95  | 8    |     |      | 249   |
| 算数・数学   | 192 | 106 | 14   |     |      | 312   |
| 理科      | 90  | 91  | 13   |     |      | 194   |
| 社会      | 64  | 80  | 8    |     |      | 152   |
| 音楽      | 28  | 18  |      |     |      | 46    |
| 図画工作・美術 | 25  | 20  | 3    |     |      | 48    |
| 体育      | 87  | 72  | 11   |     |      | 170   |
| 技術・家庭   | 22  | 34  | 3    |     |      | 59    |
| 英語      | 7   | 45  | 6    |     |      | 58    |
| 道徳      | 22  | 38  |      |     |      | 60    |
| 生活・学活   | 32  | 3   |      |     |      | 35    |
| 情報      |     |     | 9    |     |      | 9     |
| 計       | 715 | 602 | 75   | 56  | 19   | 1,467 |

参考

|               | 参加人数  |           |
|---------------|-------|-----------|
| 平成23年度・前期教育実習 | 695   |           |
| 平成23年度・後期教育実習 | 750   |           |
| 平成24年度・前期教育実習 | 712   |           |
| 平成24年度・後期教育実習 | 730   |           |
| 平成25年度・前期教育実習 | 678   |           |
| 平成25年度・後期教育実習 | 773   |           |
| 平成26年度・前期教育実習 | 687   | データベース採択率 |
| 計             | 5,025 | 29.19%    |